

セクハラ対策の最前線と大学の責務

2004年12月21日(火)

時間	講義項目
9:40 ~ 11:10	<p>相談・カウンセリング業務の点検評価と質的向上 ~ 2次被害の防止 / 学内外との連携・協力 ~</p> <p style="text-align: right;">お茶の水女子大学 河野 貴代美</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャンパス・セクシュアル・ハラスメントの特質 2. エンパワーメントへのサポートと援助のプロセス 3. 相談・カウンセリング業務の点検・評価の視点 4. 相談員・カウンセラーの資質・専門性と研修プログラム 5. 相談・カウンセリングの実際と留意点 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
11:20 ~ 12:50	<p>キャンパス・セクシュアル・ハラスメントに対する大学の取り組みの動向と課題</p> <p style="text-align: right;">金城学院大学 武田 万里子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学の取り組みの動向 <ol style="list-style-type: none"> (1)経過 (2)法的根拠 2. 被害および大学の対応の動向 <ol style="list-style-type: none"> (1)処分 (2)裁判 (3)実態調査 3. 防止策への視点 <ol style="list-style-type: none"> (1)大学の政策策定プロセス (2)実態把握 (3)啓発・研修の工夫 4. 苦情対応への視点 <ol style="list-style-type: none"> (1)相談窓口 (2)学科主任・学部長などの非公式な対応 (3)調停 (4)調査 (5)対応策の決定と実施 (6)説明 (7)マスコミ対応 (8)二次被害の防止 (9)職務上関与する者への配慮 5. 大学の構造改革の必要性和国の責務 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>

昼 食

13:50 ~ 15:20	<p>セクシュアル・ハラスメント被害から大学を守る ~ 裁判事例の特徴 / 適切かつ公平な調査と資料の証拠化 ~</p> <p style="text-align: right;">弁護士 松井 恵</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学におけるセクシュアル・ハラスメント裁判の特徴 <ol style="list-style-type: none"> (1)加害者からの裁判が多いという特色 (2)被害者訴訟型 (3)加害者訴訟型 (4)調査段階から最悪の事態(裁判)を想定した対応 2. 大学のセクシュアル・ハラスメント防止のための規定及びガイドライン <ol style="list-style-type: none"> (1)相談体制と事実の調査体制の区別 (2)相談員の役割の明確化 ~ 被害者のサポート役に限定 (3)事実を調査する人の人選 ~ 人間関係のない人、学外者も (4)処分を決めるのは全学で 3. それぞれの大学人が求められる対応 <ol style="list-style-type: none"> (1)相談を受けたら、うやむやにしない (2)セクシュアル・ハラスメントの相談員となった場合 4. 大学としてセクシュアル・ハラスメント問題が起きたらどう対処すべきか 5. 大学が訴訟を提起された場合 <ol style="list-style-type: none"> (1)被害者から訴訟を提起された場合(損害賠償請求) (2)加害者から訴訟を提起された場合(処分無効、地位保全等) <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:30 ~ 17:00	<p>〔裁判事例〕愛知大学セクハラ事件と地裁判決 ~ 大学の対応の適法性を判断 ~</p> <p style="text-align: right;">愛知大学 渡邊 正</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セクハラ事件の経過と争点 2. 大学の対応と身分保全仮処分問題 3. 裁判の争点と裁判所の判断 4. 大学におけるセクハラ問題の対応と課題 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>